

あの

丸山 宗利 先生 名古屋へ

演題:

# アリの巣をめぐる冒険

【日時】2019年1月13日(日)15時～16時半 (予定)

【場所】名古屋市中小企業振興会館 4階会議室 (千種区吹上 2-6-3)

参加費無料、一般参加者は要事前申し込み (先着 60 名)

【12/1 より受付】 【名古屋昆虫同好会会員は除く】

※一般参加者の申込は下記にアクセスし講演を申込下さい

<https://goo.gl/forms/YL57kTbEcXkVr1Fk2>



## 【要旨】

アリの巣にはさまざまな昆虫が居候していて、それらの昆虫を好蟻性昆虫という。実は身近なアリの巣にも、アリヅカコオロギなどのさまざまな好蟻性昆虫が暮らしている。そのことを初めて知った時にも驚いたのだが、アリの巣にアリとそっくりの形をした甲虫-ハネカクシのなかま-がいると知ったときには、少なからぬ衝撃を覚えた。約20年前、大学院で好蟻性昆虫の研究を始めたとき、日本には誰も専門家がおらず、新種発見の連続だった。ただ日本にはアリ型のハネカクシはおらず憧れの存在となった。いつしか海外で調査をするようになり、ようやく出会ったときの感動は忘れられない。それからの12年間は、世界中をまわって、アリ型のハネカクシの調査を行った。その調査の様子を中心に、最近の研究の成果を紹介したい。

## 講師のプロフィール

昆虫学者、博士(農学)、九州大学 総合研究博物館 准教授  
NHK ラジオ 夏休み子ども科学電話相談 出演

- ・静岡県生まれ、東京育ち。
- ・少年の頃から昆虫好きで、絶対数の少ない都会の環境で、虫の存在のありがたみを感じながら成長。
- ・北海道大学大学院農学研究科昆虫体系学教室で2003年博士号取得。
- ・国立科学博物館、アメリカ・シカゴのフィールド自然史博物館での研究員後、2008年九州大学総合研究博物館に着任。
- ・日本の他、世界各地に自ら出向き昆虫調査を実施して多数の新種や新属を発見。「昆虫はすごい」(2014年光文社新書、ベストセラー)など著書多数。
- ・専門分野はアリと共生する昆虫の多様性解明で、アジアの第一人者。



写真は「アリの巣の生き物図鑑」(丸山宗利共著)、丸山宗利 facebook より引用